

< 目 次 >

- 1 【 実践事例 】 ※20号より掲載します。
 - 2 【 家庭学習 】 全県共通課題の広がり
 - 3 【 教振は今 】 教ちゃん、振ちゃん見聞録
 - 4 【 みんなの声 】 ペっこ言い隊
 - 5 【 編集後記 】 あつしのひとりごと
-

- 1 【 実践事例 】 ※20号より掲載します。

県内小中学校における実践事例を、6月のメルマガより掲載することとしています。次回、20号・21号は、他県の実践事例を紹介します。お楽しみに！

- 2 【 家庭学習 】 全県共通課題の広がり

平成22年1月、「日本一の教育力を問う」と題するシンポジウムが開かれました。1月10日付け「岩手日報」では、全国学力テストにおいて3年連続好成績を収めている秋田県と福井県の教育長らの「地域や家庭の支えが要因である」というコメントを掲載していました。

また、同記事の中では、秋田大学の阿部教授は、「秋田県の通塾率は全国の下から2、3番目。学力は授業でつけるという当たり前のことができている」と言い、福井県の教育長は家庭学習の重要性を強調していました。

「家庭学習の充実」と「読書活動の推進」を全県の共通課題として取り組んでいくことを提唱している岩手県でも、連動した動きが多く見られてきています。4月6日付け「岩手日報」の記事から、2つ紹介します。

- (1) 盛岡市教育委員会では、読書・学習を促すことをねらい、市内全小中学校の全児童生徒を対象とした「テレビ視聴時間減量作戦」を実施しています。市PTA連合会長は、「市全体のキャンペーンの趣旨には賛成で、各家庭でも頑張ってもらい学力向上につなげたい」と評価していました。
- (2) 県PTA連合会では、県内の保護者を対象に「家庭教育に関する会員の意識調査」をおこない、家庭学習と読書の時間について、保護者の理想と子どもの現状の間には、大きな差があることが明らかになりました。

今、県内の子どもたちの学力向上と生活時間のアンバランスが喫緊の課題となっています。「これで良いのか」という問題意識を学校・親・地域が共有して、

「みんなでやろう」という全県運動を展開していきましょう。

3 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

(教ちゃん) みんなさ～ん！昨年度のテレビ出演に続き、4月23日には新聞デビューを果たした教ちゃんです！

(振ちゃん) 今日は、最初からテンションが高いぞ・・・。

(教ちゃん) 先号で紹介したポスターが、「岩手日報」にカラー写真で紹介されたのですよ～。次は、ラジオ出演とCDデビューね。

(振ちゃん) それは、さておき。全県共通課題のポスターのA4サイズPDFデータ(カラー版)があるので、啓発チラシとして市町村での会議や研修会でも配ってくださいね。データはこちらです。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/22minnadekyoushin.pdf>

(教ちゃん) ちょ、ちょっと～。「さておき」って何よ！

(振ちゃん) 特に校長先生をはじめ、学校の先生が集まる会議や研修会でポスターの紹介し、PDFデータを配って欲しいな。学校がおこなっている地区懇談会や授業参観、家庭教育学級でも、啓発チラシとして配り、保護者のみなさんに「家庭学習」と「読書」の大切さをどんどん伝えて欲しいから・・・。

(教ちゃん) ねえ、ねえ。私のデビューの話はどうなったのよ。

(振ちゃん) だから、教ちゃんのことをもっとみんなに知ってもらいたいっていうことを話しているんだよ。

(教ちゃん) あら！そうなの。そんなあ、照れるじゃないの・・・。

4 【みんなの声】ぺっこ言い隊

(1) おはようございます。早速、メルマガ配信の手配を下さって、ありがとうございます。県教委でこうした取り組みをされていれば家庭学習の充実や読書のことなどどんどん広がるのだなーと感服しております。

拝読させていただき勉強させていただきますのでお手数をおかけして恐縮ですが、どうぞよろしく願いいたします。(M市 Tさん)

(2) 学校は新学期がスタートしましたね。我が家にも新1年生がいます。登校初日は「友だちができるかな？」と不安な様子でしたが、次の日には「2人友だちができた」、また次の日には「6人になったよ」と、毎日、目を輝かせて学校での出来事を話してくれます。

私としては、早く新しい生活に馴染んで欲しいなと思いながら、帰宅したらなるべく子どもたちの話を聞こうと心がけています。

昨今、成長とともに子どもとの会話が少なくなったという話を耳にしますが、楽しい会話のある親子を目指していこうと、年度始めの今、小さな目標設定をしたところです。(H町 Cさん)

★メルマガの感想や日頃思っていること、意見・要望をお寄せください。
⇒ 21kyoushin@gmail.com

5 【編集後記】あつしのひとりごと

4月半ばでも肌寒く、桜のつぼみがまだまだ固い春ですが、先週と今週の日曜日、あつしは畑の“土づくり”に精を出し、心地よい筋肉痛となっています。3坪ほどの小さな畑ですが、無農薬の畑づくりを始めて3年目になります。

1年目・・・てんとう虫と戦いながらトマトとジャガイモを育て、農家の苦労を思い知りました。隣の家小学生に、とうもろこしを採らせてあげたところ、身のつきが悪く、がっかりさせてしまいました。

2年目・・・「今年こそ、隣の小学生にとうもろこしを」と思っていたところ、鳥に食べられて収穫ゼロでした。しかし、さつまいもは豊作で、いも掘りに甥は大喜びでした。3年目の今年こそ、とうもろこしを实らせたいものです。

実は、花が咲いて実ります。花は、葉が太陽の光を浴びて咲かせます。葉は、茎に茂り、茎は根に支えられています。その根は、“土”から栄養を吸収します。畑の実りが“土づくり”によって決まるように、教育や教育振興運動も、種をまく前（アクションを起こす前）の“土づくり”を大切にしたいですね。

バイクも冬眠から目覚め、春の準備を着々と進めている あつし でした。

今年度も、教振メルマガをよろしく願います。
⇒ 第20号は、5月11日（火）配信です。

★平成21年度配信のバックナンバー（第1～17号）はこちらまで。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index5.html>

★平成21年度「家庭学習」と「読書推進」の実践事例はこちらまで。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index3.html>

★生涯学習の役立ち情報なら何でも「まなびネットいわて」まで。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/>

～～～配信元～～～

* 岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

* 発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士（さとう あつし）

転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気をおあなたから作りだしてください。

～～～